



南あわじ市社会福祉協議会広報



第53号

2018年9月発行

わかば



「我がごと」に引き寄せた “命を守る” 地域防災

CONTENTS

- 目指そう! 災害にも強いまちづくり.. 2・3
- お知らせコーナー 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪 6
- 社協活動紹介 7
- 善意銀行だより..... 8

9月1日、今年で8回目となる「ぼうさいカフェ in 緑」を倭文公民館にて開催しました。今年は倭文長田地区の取り組みを発表いただき、地域でできる防災についてグループワークを行いました。こうした継続した取り組みは、ゆっくりではありますが着実に防災力の向上へとつながっています。社協では、防災をきっかけに地域で話し合う場づくりを推進しています。

社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田1064番地 南あわじ市旧緑庁舎内
TEL(0799)44-3007(代) FAX (0799)44-3037(代)

URL <http://www.minamiawaji-shakyo.or.jp/>

- 本部・総務係 ☎0799-44-3007
- 地域福祉係 ☎0799-44-3007
- ボランティアセンター ☎0799-44-3007
- 権利擁護センター ☎0799-44-3310

E-mail info@minamiawaji-shakyo.or.jp

- 訪問介護事業所 ☎0799-44-3133
- 居宅介護支援事業所 ☎0799-44-2727
- 相談支援事業所 ☎0799-44-3711
- なでしこデイサービスセンター ☎0799-45-1806

南あわじ市社協

検索

facebook

目指そう！災害にも強いまちづくり

るなど、立て続けに大きな災害が起きています。また、南あわじ市内でも避難指示の
るか分かりません。また、「南海トラフ地震」が今後発生する可能性が高いと予想さ
ってみてはいかがでしょうか？

自助・共助・公助・近助

自分のことは自分で助ける

そのためには、事前の備えが必要です。自助
が防災の基本と言われるのは、まずは自分を守
ることにより、家族や友人・隣人を助けにいく
ことができる「共助」のベースになるからです。



家族や地域で共に助け合うこと

自分や小さな共助である家族だけでなく、自
治会などの小さな地域コミュニティ単位で、防
災としての助け合い体制を構築する、また災害
発生時に実際に助け合うことを言います。



自 助

共 助

公 助

近 助

行政による救助・支援のこと

国や地方公共団体が事前の対策として、避難所
の指定、公園などの一時避難場所の整備、建物の耐
震化工事に対する助成金の支給、災害情報の周知・
徹底などさまざまな取り組みが行われています。

近くの人が近くの人を助ける

いざという時、助け合うのはご近所さんで
す！ご近所さん同士が思いやり、助け合う「近
助の精神」を心がけ、普段からあいさつをしたり
、声を掛け合ったりすることが大切です。

災害ボランティアセンターの役割

災害ボランティアセンターとは、地震や風水害などにより、被災した人たちや地域を支援するた
めに、災害救援活動を行う臨時かつ応急的に設置されるボランティアセンターです。主な役割として「被
災者がより早く元の生活に戻れるように、災害ボランティアと協力して被災者の生活を支援すること」
「災害ボランティアが活動できるように関係機関と連携し、調整をすること」などが挙げられます。社
協・ボランティアセンターは、平常時から地域に密着した地域福祉活動を展開して
いる特性を活かし、南あわじ市防災計画
において、災害ボランティアセンターを
設置、運営することになっています。



倉敷市にボランティアバスを運行しました

淡路地区3市社協では、平成
30年7月豪雨災害による被災
地支援として岡山県倉敷市に
対して、ボランティアバスを4
日間運行し、のべ90名の方に
ご参加いただきました。

現地では、被災者の生活再
建に向けて、ニーズ調査や床
下の泥かき、室内の拭き掃除
などに汗を流しました。



●こんなにたくさんの活動をされている事にびっくりしました。それと共に、年を重ねる
事への不安が軽減される思いでした。自分に協力できる事も考えたいと思います。

前回「わかば」の感想
抜粋して一部紹介します。



わかば

2

いざというときのために…

今年に入り、6月には大阪府北部地震、7月には西日本で豪雨により甚大な被害を受け発令や、避難所の開設などもあり、今後もいつ・どこで・どのような規模の災害が起きています。いま一度、家庭や地域、職場内などで災害時の対応や対策について話し合

楽しく学ぶがキーワード！ ～山添自治会の防災学習～

広田地域の中でも児童数が一番多い山添自治会。ここでは子ども会を中心に、自治会、老人クラブ、ふれあいいきいきサロンが合同で流しそうめんや綿菓子などの企画を通じて、子どもたちと地域住民が交流する「山添夏祭り」を開催しています。その中で、参加した小学生や住民のみなさんを対象とした地域の防災学習会も行っています。



今年は、大阪府北部地震、西日本豪雨と立て続けに発生した大規模災害を目の当たりにし、災害を「我が事」として捉えなければならないと考え、子どもたちを中心に「防災マップ」をつくることになりました。大人を交えたグループに分かれ、大地震と大雨を想定して、グループ全員が自宅から公会堂へ無事に避難できるルートを白地図に描いていきます。「この道は雨降ったら土が流れて危ない」、「地震きたらこの家の塀危ないんちゃう？」など、子どもも大人もゲームを忘れ真剣そのもの！みるみるうちに、住民自らが考えた避難ルートがつけられていきました。



「今日出来たマップは必ず地域の役に立つ、防災にはこうした取り組みを継続していくことが大事」とサロン代表者の吉井さんが話すように、完成したマップには参加者70名が無事に避難できた証が記されていました。この「防災マップ」づくりをきっかけに、地域住民が土砂災害や洪水、地震など大規模災害発生時に有効活用できるしくみづくりがまた一歩前進し、地域の防災力の高まりを実感しました。

障がいのあるわが子を避難させるには…

大きなカバンを常に2つ用意しているAさん。中身は災害時の避難グッズですが、そのすべてが体の不自由なお子さんの分です。全介助が必要で固形物が食べられないため、食料なども持って避難する必要があります、このカバンを持って避難するだけでも大変です。

約7年前、「障がいのあるわが子を避難させるにはどうすればいいだろう？」と障がいがある子どもの親の会の集まりで話し合った



ことが、この避難用具を準備するきっかけでし

た。まずは地域の防災訓練に参加することで、どんな避難用具を準備すれば良いかを学び、民生委員さんに、わが子を『災害時要援護者台帳』に載せてほしいと依頼されたそうです。当時は、何から始めれば良いかも分からず、周りの方々から色んな情報を集めて、何もかもが手探り状態で大変な思いをされたそうです。

現在も、毎年『災害時要援護者台帳』の登録更新を行い、お隣さんにも登録更新したことを伝えているそうです。「お願いすることは、緊張し気が引けてしまうのですが、民生委員さんもお隣さんもお快く引き受けてくださるので、とても心強く助かっている。」と話してくださいました。





お問合せ・申込み: ☎0799-44-3007

今年も福祉のおまつり 開催します♪

今年も各地区で地域住民のつながりの輪を広げることを目的に福祉のおまつりを実施します。

11/10 (土) **なんだん福祉まつり**
／賀集地区公民館

11/23 (金・祝) **みどいふれあい福祉のつどい**
／倭文小学校

12/1 (土) **せいだんふれあい交流のつどい**
／湊地区公民館

2/17 (日) **みはら福祉の集い**
／榎列地区公民館

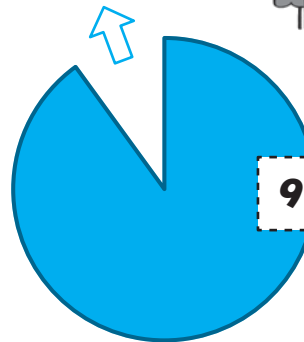
詳しくはお問い合わせください♪



赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!

今年も10月1日から共同募金運動が始まります。集められた募金は、市内の子どもたちや高齢者、障がいのある方、地域活動などさまざまな活動に役立っています。今年もみなさまのあたたかいご協力をお願いします。

県内の
福祉施設団体や
災害等積立へ



9割は南あわじ市へ

無料法律相談のご案内

奇数月の第3水曜日に無料法律相談を行っています。お困りごとがある方は、ひとりで悩まず、ぜひこの機会をご利用ください。

日にち 平成30年11月21日(水)
平成31年 1月16日(水)
3月13日(水)

時間 13:00～16:00
相談は1人30分
予約制・先着順で6人まで

対象者 南あわじ市内在住・在勤の方

弁護士 菜の花法律事務所 寺岡良祐氏

申込み 実施日の前週金曜日までに
社協までお申し込みください

日常生活自立支援事業のご案内

在宅で生活されていて、判断能力に不安のある方の福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをする事業です。

〈利用できる方〉

1. 判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者の方などで本人の意思が確認できる方
2. 家族と一緒に住んでいる方やグループホームやケアハウスなどに住んでいる方

〈支援内容〉

1. 福祉サービス利用の相談・手続き
2. 各種支払い手続き
金融機関での出入金、通知の確認
3. 通帳や印鑑、年金証書の預かり



介護用品をお譲りします

みなさまから善意銀行にご寄付をいただいた紙おむつなどの商品を、ご自宅で介護をされている方にお譲りしたいと思います。

日にち 10月10日(水)

時 間 10:00~12:00

場 所 社会福祉協議会(旧緑庁舎)

対象者 南あわじ市在住で自宅で介護をしている方

内 容 善意銀行でいただいた商品が必要な方にお譲りいたします。
例)紙パンツ、紙おむつ
尿とりパッドなど

その他 一人につき
5つまで
(先着順)



ボランティア募集!!

着ぐるみボランティア

「福祉のおまつり」などで、南あわじ市社協キャラクター“み～あ”として会場を盛り上げてくれる人を募集しています♪



日にち/場所

11/10(土) / 賀集地区公民館

11/23(金・祝) / 倭文小学校

12/ 1(土) / 湊地区公民館

レクリエーションボランティア

ご自身の特技(手芸、書道、歌、踊りなど)を生かして、地域のサロンや施設で活動できる方を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

つながいサロンのご案内

障がいのある方やその家族が、気軽に集まれる場です。楽しかったことや困っていることなど、みんなで話し合しましょう!お気軽にご参加ください。

日にち 10月27日(土)

時 間 10:30~15:00

対象者 市内在住の障がいのある方やその家族など

内 容 新淡路病院の「地域ふれあい祭」に参加



スポーツ交流教室のご案内

障がいのある方がスポーツを通して様々な人と出会い、一緒になって体を動かして交流できる場です。休日に外出する機会が少ない方や思いっきり体を動かしてみたい方など、みんなでいい汗をかきましょう!

日にち 11月24日(土)

時 間 13:30~15:00

場 所 三原健康広場

対象者 市内在住の障がいのある方やその家族などどなたでも

内 容
バレーボールなど
自由に運動



「今日も元気にしよっけ？」

地域を支えているのは一人ひとりの小さな力

沼島に住むAさんは、老人車を押し毎日近所周りを歩いています。明るく気さくな性格で地域では知る人ぞ知る存在です。最近では目も見えにくく、耳も聞こえにくいため一人での乗船も難しくなっていますが、近所の人への声かけは欠かす事はありません。沼島という地域の特性から、介護保険サービスの利用についても、自然と耳に入ってくるようで、訪問介護を利用している人には、「ヘルパーさん来るから家に居りよ」や「何でもヘルパーさんに頼らんと自分でもせんとあかんでえ」と声をかけます。

はじめは、とまどいや迷いのある人もAさんの日々の話から「自分もふれあい・いきいきサロンに参加してみようかな」「デイサービスに顔を出してみようかな」と徐々に地域の集まりや、沼島デイサービスを利用し始めた人もいます。みなさん年齢層はバラバラですが、Aさんの人柄から心を動かされる人も少なくありません。

一人の力は小さいかもしれませんが、それぞれが意識をし、動き出せばいずれ大きな力となります。地域を支えているのは、一人ひとりが持つ小さな力かもしれません。小さな力を背に、Aさんは今日も老人車を押し、地域に出かけて行きます。



つつい行きたくなるお楽しみ会 ～津井地区の集いの場～



昨年まで、社協で行っていたミニデイサービスが、今年の3月で終了しました。これまで通っていた津井地区の14名の方の「同じように集える場が継続できれば！」との声に、老人会・自治会・民生委員・社協で何度も話し合い、今年4月に予想をはるかに上回る23名の方が集まり、「津井のつつい行きたくなるお楽しみ会」としてスタートしました。遠くから来られる方々はタクシーを乗り合わせ

せて参加します。

内容は、「地元の人たち・民生委員のお手伝い」や「社協の出前講座などを利用する」、「会費は当分設定しない」などが話し合いの中で決まりました。結論が出ていない細かな部分は、順次決めながらすすめていくことにしています。ミニデイサービスの時も津井からの参加者は、女性ばかりでしたが、今回も参加者はほとんどが女性で、元気で前向きな方々が大勢集まりました。男性の参加も心待ちにしているところですが、どうやらお茶を飲みながらのおしゃべりは女性に向いているようです。

これからひとり暮らしの高齢者が増え、買い物や医療機関への交通手段もなく、情報も得られにくい状況になることが考えられます。人は人の間にあってこそ楽しみやしあわせを感じ、刺激を与えられ、いくつになっても新しい出会いによる新しい世界が広がると思います。集まることをきっかけに、地域の大きなつながりになり、生活にも災害にも強い地域になることを期待しています。



今年もよかさ〜くる「あつまらんか！」を開催しました！

今年も夏休み中に障がいのある子どもたちの余暇支援や兄弟支援などを目的とした、よかさ〜くる「あつまらんか！」を開催しました。

今回はプールに行ったり、カレーを協力して作ったり、外食に行ったりとたくさんの思い出づくりができました。つながりのなかった子ども同士、兄弟同士でふれあうことで新たなつながりが生まれていました。また、子ども達は年上のボランティアさんや先生と楽しく遊び、いつもとは違う表情を見せてくれました。

保護者の方からは「子どもの社会経験につながってよかった！」「よかさ〜くるが終わった後は子どもが笑顔で帰ってきてくれる」など嬉しい言葉をたくさんいただきました。



なでしこデイサービスセンターで夏祭りを開催しました

8月27日(月)になでしこデイサービスセンターで夏祭りを開催しました。

屋台にはやきそば・からあげ・フランクフルト・かき氷・ちらし寿司、ゲームコーナーもありました。余興には、ご利用者が所属するゆいま〜る淡路様にご出演頂き、三線の涼しい音色に合わせた素敵な歌声がフロアに響きわたり、夏の暑さを忘れさせてくれました。

ご参加頂きましたご利用者・ご家族様、ボランティアの皆様、ゆいま〜る淡路様、ありがとうございました。初めての夏祭り開催でしたが、笑顔あふれる一日となりました。



サマーチャレンジボランティアに多くのご参加ありがとうございました！

夏休みにボランティア活動を始めてみたい・体験してみたいという高校生以上の方を対象に募集したところ、島内の高校生や専門学生、大学生や一般の方など27名の申込みがありました。

参加者は、市内の高齢者や障がい者の福祉施設などで積極的にボランティア活動を行い、利用者などとのふれあいや交流を深めました。

参加者からは「とても充実した勉強の機会になった」「子どもたちとふれあえて楽しかった」などの声をいただきました。

ボランティアセンターでは、ボランティアを必要とする方や機関とボランティアをしたい方をつなぎ合わせ、新しいつながりが広がるよう活動していきます。



被災地倉敷市へ職員派遣

西日本豪雨では岡山県、広島県、愛媛県をはじめとする多くの地域で甚大な被害を受けました。

南あわじ市社協では、岡山県倉敷市の災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、運営に協力をしました。災害ボランティアセンターでは、ボランティアの受付、被災ニーズの把握、活動先の紹介など様々な活動を行っています。

今後も南あわじ市社協では、被災された方々がいち早く安心した生活を取り戻すことができるよう継続して支援していきます。また、社協窓口などで義援金の受付もしておりますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。





平成30年6月1日～平成30年8月31日まで
(敬称略)

金銭預託

○亡妻の供養として

阿 万 阿部 安幸

○亡母の供養として

津 井 野口 浩一

○地域福祉のため

南淡郵便局区内

郵便切手類販売協会

第9期三原町議会議員

昭平会

物品の寄付

○食材

倭 文 橋本 剛旺

○紙おむつ・おしりふき他

広 田 菅 和大

○ペットボトルのふた・ブルタブ・古切手・書き損じハガキ・テレホンカード・ベルマーク

白川 広子 田辺 和子
小島 民子 赤松 照美
久田 米子 太田 智子
網島 空大 松坂 壽仁
喜田 健二 三浦 一子
田口 清子 安部 則行
出口 和子 有賀 順子
馬野 嘉人 江本 京子
江本 摩耶 加地 順子

小林 照代 安部 幸代
坂本 勢吉 瀧本 早苗
岡本 當代 前川 英明
斎藤 榮江 井内 秀子
山田 浩嗣 福島美紀子
三宅 大智 池田 健祐
在田 千恵 木場 孝衣
赤井 篤子 記虎 一美
平本 民子 奥畑 広二
喜田 進 坂本トシ子
桜木 進 藤江キヨエ
堤 輝行 本濱まなみ
原 京子 谷間りえこ
牧 弘之 寺岡まりこ
干潟麻衣子 佐古登喜子
武市久美子
鍛冶山 るり子
波戸崎 のぶ子
せんけい苑
潮美台二丁目自治会
灘リーググラウンドゴルフ
神代地区公民館
海釣り公園(メカフロート)
明治安田生命相互会社淡路営業所
八木病院
向谷自治会
緑風館
津井地区有志一同
みどりが丘自治会
福良こども園
サロンえじり
ふれあいながた
潮美台一丁目自治会
ホテル&リゾート南淡路
千種いきいきサロン
翁寿園
元気の森ホール
(株)あべいすと
(有)石田商店

皆様から寄せられました心あたたまる善意は、寄付者のご意向に副い福祉の増進に有効に活用させていただきます。

(株)岡本商店
フードショップ渡辺
まほろばグループ
湯の川荘
市小学校
南あわじ市教育委員会
あずまサロン
北阿万小学校
陸の港西淡
幼保連携型認定こども園 松帆北
幼保連携型認定こども園 松帆南
みなといきいき百歳体操愛好会
みなとふれあいサロン
広田中学校
南あわじ市消費者協会
新田北サロン
十一ヶ所スマイルクラブ
電気のお店くらだ
(株)大幸
太陽の家
JAMISミッドマシナリ労働組合
さんゆ〜館
八木地区公民館
なでしこデイサービスセンター
潮美台地区公民館
朝日窯業
榎列郵便局
いちえ福祉会
どんぐりの里
エシエルケア
看護り処 花もり
(株)越岡建設
ういず
三原中学校
慶野観光

集めた物品はどうなるの？

ペットボトルのふた

淡路清掃(株)→換金→社協→世界の子どものためのワクチンを日本委員会へ

フリタフ

朝日新聞サービスアンカー三原→換金→車いすへ

古切手

NPO法人誕生日ありがとう運動本部→

切手コレクターに販売→知的ハンディキャップの啓発

ベルマーク

市内の小学校へ



総合相談のご案内

生活上の困りごとや心配ごと、福祉に関する相談、消費者トラブル、子育てに関する事など、どなたでもお気軽にご相談ください。

○相談日 月曜日～金曜日

8時30分～17時15分

「花」でした。

第52号のふくしクイズの答えは

■応募方法

はがきに①クイズの答え②P2.3の記事にかんする感想③郵便番号④ご住所⑤お名前⑥お電話番号⑦年齢をご記入の上ご応募ください。

■締め切り

10月31日(水)必着

■応募先

〒656-0122 南あわじ市広田広田1064

南あわじ市社会福祉協議会

- ◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント!
- ◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

□に合う文字を考えよう!



(漢字2文字)

ふくし

クイズ

ヒント/いざという時のための日頃の備えや、地域のつながりの大切さ(P2.3)